

開催日時 平成26年11月14日(金) 午後6時
開催会場 西部市民サービスセンター3階洋室6・7

1・ 新屋鹿嶋船制作委員会の総括について

(1) 制作委員会の立ち上げ

平成26年3月16日(日)ウエスターで開催の、新屋鹿嶋祭保存会第9回三役、部会長合同会議(保存会員9名、美大生2名、計11名出席)で、鹿嶋船制作委員会が立ち上げられた。委員長に國安同会制作部長を指名、委員には制作部員を含め、ほかは委員長に一任された。

(2) 第1回新屋鹿嶋船制作委員会が平成26年5月10日(土)ウエスターで、新委員により、下記を議題として開催された。

- ① 新屋鹿嶋船の船型について ア、国立民俗歴史博物館所蔵・「新屋鹿嶋祭・鹿嶋船の写真」
イ、鹿嶋船イラスト「新屋鹿嶋祭保存会会員、舛谷博英氏製図」

協議結果：アとイの両船を参考に、最も新屋鹿嶋船にふさわしい原寸大2/1程度の船型とすることに決定。

- ② 新屋鹿嶋船制作計画書について
③ 制作費用と地域づくり交付金申請について
④ 制作会場(仕事場)について
⑤ その他

協議結果：柴田制作副委員長から、資料「鹿嶋船(ミニ)制作計画書」に基づく工程表、平・側・正面図と、お堂、太鼓、帆柱の装備品と説明板設置等についての制作費用見積もりと地域づくり交付金の利活用、制作作業場の案について詳細な説明があり、9月26,27,28日開催のウエスター祭りまでに仕上げることで、概ね了承された。

この会議で「新屋鹿嶋船」制作に向けて具体的な計画書が示され本格的にスタートしたわけである。はたして計画通り順調に進められ、そして、ウエスター祭りに間に合わせる事が可能なものか、伊藤保存会会長からは“完成しなければ”の強い意志(出来ないと言うな!)が表明されたものの、現実的には、むしろ性急過ぎて無理なのでは?の懐疑的雰囲気を感じられた。

そんな中、懇談会の終わり頃、金澤委員から武者人形については「私に任せて貰えないか」と申し出があり、その時の嬉しさは今でも忘れられず、会の終盤、その旨を全員に伝えたところ、何処からともなく「絶対作ろう!」の力強い声上がり、アルコールの勢いも手伝って一気に展望が開

けた気分であった。それを感じ取った伊藤会長の満足気な表情は、今も記憶に新しい。

(3) 第2回新屋鹿嶋船制作委員会が平成26年7月8日(火)ウエスターで下記を議題として開催された。

① 鹿嶋祭保存会第4回定期総会が平成26年7月27日(日)、日吉会館で開催されるにあたり、提出する制作部の活動報告及び計画案を協議した。

協議結果：了承された。(資料 省略)

② 「最も模範的な鹿嶋船」制作の具体的進め方について

ア、制作図について

イ、制作用材と量、費用について(お堂を含む)

ウ、制作費用と地域づくり交付金申請の状況について

エ、制作工程と作業方法について

協議結果：柴田制作副委員長が東奔西走し懸命な努力により纏め上げ、提出した資料「鹿嶋船の制作要領・現状」について、制作に係る項目別の担当者を決めてお願いした結果、了承された。さらに、制作委員長から、今後の進め方について、それぞれの担当者には、進捗状況を含めて柴田副委員長を中心に随時協議しながら進めて貰いたいとしてお願いした。また、担当に名前が記載されていない委員についても、気の付いたこと等へのアドバイスの協力を要請した。

制作工程についてもA案(11月完成予定)とB案(ウエスター祭前完成)の2案を示した。このことについては、第1回委員会の結果を踏まえて、是非にもウエスター祭りに合わせて完成することを目標とした。

(4) 第4回鹿嶋祭保存会定期総会が平成26年7月27日(日)日吉会館で開催された。以下の議題について協議された。

① 平成25年度事業報告について(各部から活動報告)

② 平成25年度収支決算報告について

③ 会計監査報告

④ 平成26年度事業計画案について(各部から活動計画案の説明)

⑤ 平成26年度事業計画案について

⑥ 「模範的な鹿嶋船」の製作について

⑦ 役員改選について(選考委員会の設置)

⑧ その他

協議結果：すべての議案が承認された。平成26年度、本会の活動目標が「模範的な鹿嶋船の制作」一点に絞られており、ウエスター祭りに展示すること

を最大の目標であると強く訴える内容であった。

従って、制作部会意思表示として、達成のため全力を傾注する旨を発言した。

(5) 第3回新屋鹿嶋船制作委員会が平成26年8月22日(金)ウエスターで下記を議題として開催された。

- ① 作業の進捗状況と今後の進め方について
- ② 制作費用と地域づくり交付金申請の状況について
- ③ その他

協議結果：船の制作について、制作委員長から柴田副委員長が下準備に緻密且つ詳細な計画のもと奔走。当初から図面制作した舛谷博英氏立ち会いのもと、造船担当の齋藤澄夫氏、馬材担当の大島勝美氏、帆柱についても武藤富夫氏の協力が得られ、8月14日から22日まで、今野周次郎高美町町内会長のご厚意、協力により同町内会館を作業場として使用。途中雨などの天候不順で作業の中断はあったものの、それぞれの懸命な作業の結果、完工することが出来た、と報告した。

藤枝事務局長からは、鹿嶋人形の重要な部分、「頭部」の制作については、感性の優れた美大生にお願いし必要数を揃えることが出来たとあった。

また、金澤國太郎氏制作の「武者人形」や武藤富夫氏担当の「お堂」についてはそれぞれの工房で、「帆」についても柴田副委員長がウエスターで活動しているソーイングサークルに縫製をお願いしており制作も順調に推移していることが報告された。

さらに、船の舳先やガツギの巻き付けや構造についても会議に諮り最終的に決定された。かつ、ガツギの巻き付け作業を9月21日に施工すること、完成後の神事(お祓い)の日程を9月22日(月)午後2時に日吉神社で行う事を確認した。と同時に船に搭載する「鹿嶋人形」の制作については9月21日までとして、材料の「台と天筆用の短冊」について制作委員が所属する町内については制作委員を通して町内に、以外については柴田副委員長が直接町内会長に届けお願いすることとした。

(6) 平成26年9月21日(日)

- ① 午前8時30分 高美町町内会館で船体に「ガツギ」巻き(高美町町内会佐藤副会長が作業指導)を行った。船は高美町内会館に保管。
武藤富夫氏制作の「お堂」も完成。
- ② 午後1時から ウエスター2階で各町内制作の鹿嶋人形を受け取った。

(7) 平成26年9月22日(月)

- ① 午前 船を高美町会館から日吉神社境内に搬入、仕上げ作業施工・完了。
- ② 午後2時 関係者出席し日吉神社で「神事・お祓い」を行う。
- ③ 午後3時 鹿嶋船を日吉神社から西部市民サービスセンター2階(ウエスター祭り鹿嶋船展示場所)へ搬入。

(8) 平成26年9月26日(金)～28日(日) ウエスター祭りに展示する。

(9) 以降 ～ 展示中

(10) 平成26年10月6日(月) 午後6時 鹿嶋祭説明板作成に関する会議開催

(11) 平成26年10月21日(火) 午後6時 同上会議開催

(12) 平成26年10月末 説明パネル版設置完了

(13) 平成26年11月14日(金) 制作委員会解散会開催(予定)

【國安委員長所感：新屋鹿嶋丸完成までを振り返って】

平成23年11月20日保存会が発足、以来約3年近く、会そして、製作部員として「模範となる新屋鹿嶋船制作」を最大の目標として、部員とともに真摯に取り組んできました。

当初は、船の型をめぐり激論を重ね、多くの様々な意見があったものの一つに集約することが難しく、一時、八方ふさがりの状況となりました。打開策が見いだせない状況に直面した中で、昨年のウエスター祭りの際展示された写真に、「国立歴史民俗博物館所蔵の新屋の鹿嶋船」を発見。合わせて会議で提案のあったアイディアの中から「イラスト図の心得のある方に依頼しては」と有ったことを受けて、会員の舛谷博英氏に依頼。完成した「鹿嶋船のイラスト」が局面を開く大きな転機となって、船型の確定に大きく前進することが出来ました。

そのような状況の中で、本年3月に開催された保存会三役、部長会議で「制作委員会」の立ち上げが決まり、且つ、7月の定期総会の活動目標の一項目に「ウエスター祭り(9月26日から28日)を目途に“模範的な鹿嶋船の制作”に保存会の総意と英知と技術力を結集し鹿嶋船の制作に集中」とあり、議決されました。

その一字一句に込められた決意に、制作委員長として拝命を受けたばかりの身には、大きなプレッシャーでしたが、それとは逆に、何の勝算も有るわけではないのに、「ヨシッやってやるぞ！」の、大きな発奮材料に感じたことも確かでした。

いよいよ制作に向けてスタート。各委員がそれぞれ持てる力と技を存分に発揮したとともに、熱い情熱を持って真摯、懸命に取り組んだことと、「地域づくり交付金」のおかげでとても素晴らしい鹿嶋船が完成したと思っています。きっと町民の皆様にも納得、喜んでもらえるのではと感じているところです。

委員の皆様からは、立派に完成した鹿嶋船以上に、言葉が思い当たらないぐらいの尊い体験をいただくことができました。ここに委員一人ひとりに深い感謝と敬意を表します。有難うございました。